

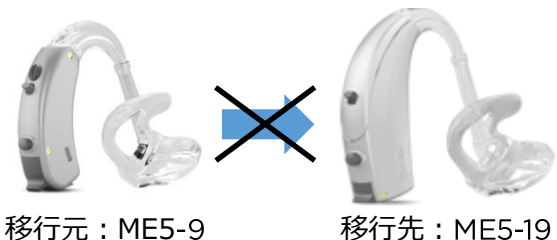
# Compassスタンドアローン（Compass DEMO）を用いた同一器種間の調整データの移行

同一器種間かつ同じ音響構成であれば、Noah4を使用していないパソコンであっても調整データを移行することができます。例えば、試聴器でフィッティングした調整データを新規購入品の同一器種に移行する際に便利です。センソグラム、FBテストやIG、プログラムなどが移行されます。

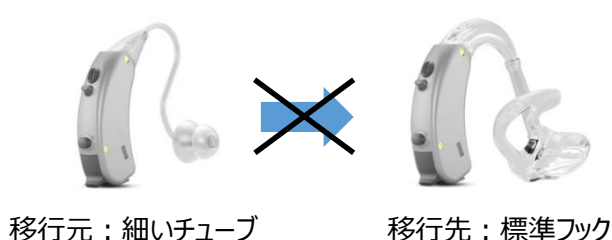
音響構成が変更できるモデルの場合は、データ移行前に、移行元となる補聴器と同じ音響構成に合わせてからデータ移行を行ってください。

## 調整データが移行できない例

・移行元と移行先の補聴器のモデルが異なる場合



・移行元と移行先の補聴器の音響構成が異なる場合

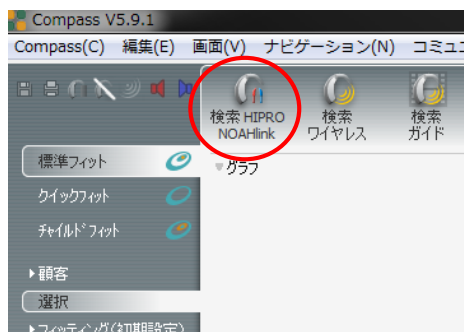


### 移行されない内容

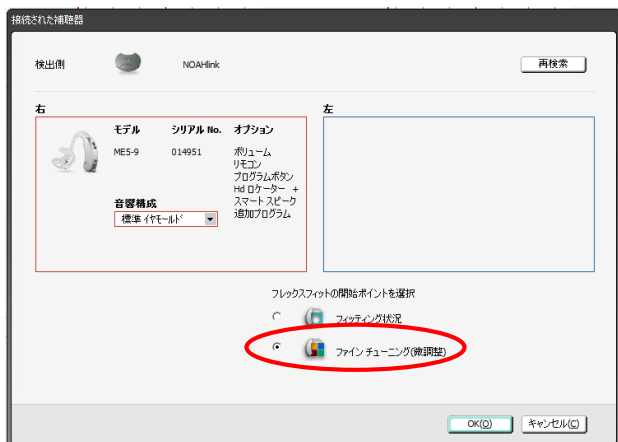
- ・補聴器のシリアルナンバー
- ・サウンドダイアリーの記録データ
- ・スマートスピークの男声/女声、言語の設定（設定可能なモデルの場合）

## 調整データの移行手順

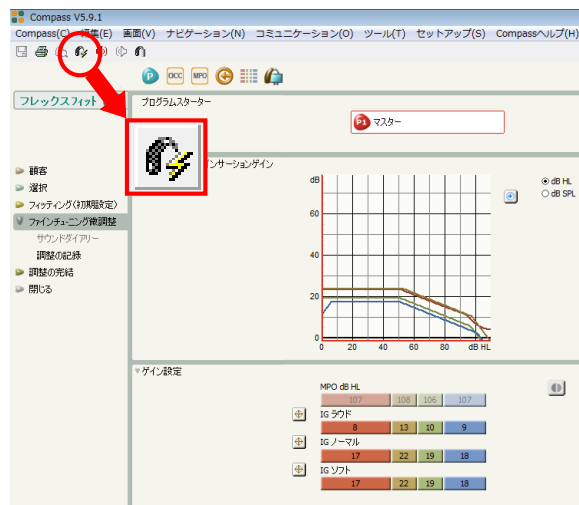
- ① Compassを起動し、移行したい調整データの入っている補聴器を接続します。



- ② 接続された補聴器の情報と音響構成が表示されますので、「**ファインチューニング（微調整）**」を選択し、「**OK**」ボタンをクリックします。



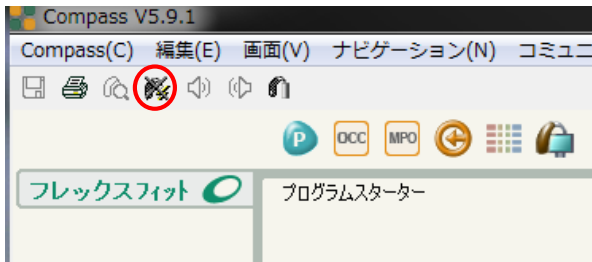
- ③ フィッティングデータ確認後、画面左上、左から4つ目の補聴器のアイコンをクリックし、補聴器を切断します。NOAHlinkからも補聴器を取り外します。



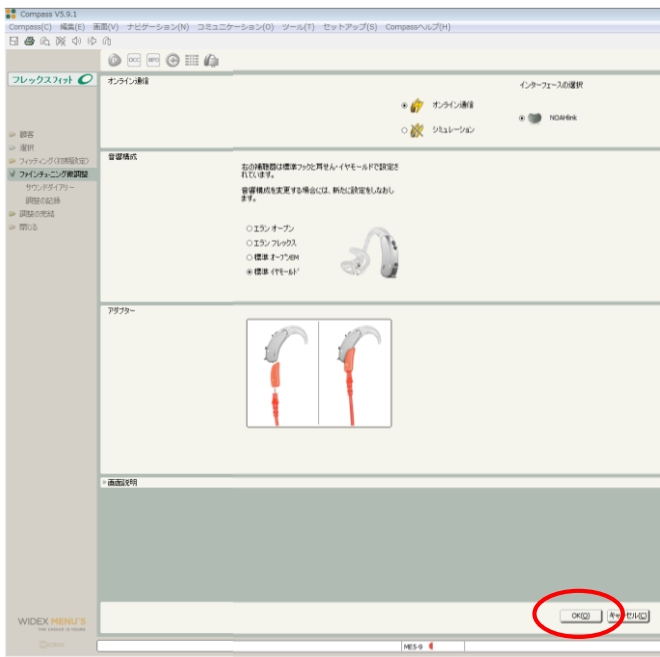
※ 補聴器を切断すると、以下のようなアイコンに切り替わります。



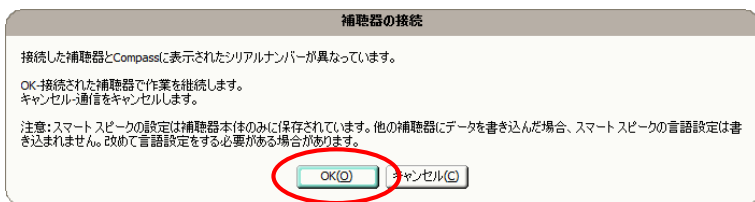
- ④ データ移行先の補聴器を準備します。③と同じように画面左上、左から4つ目の補聴器のアイコンをクリックし、データ移行先となる補聴器を接続します。



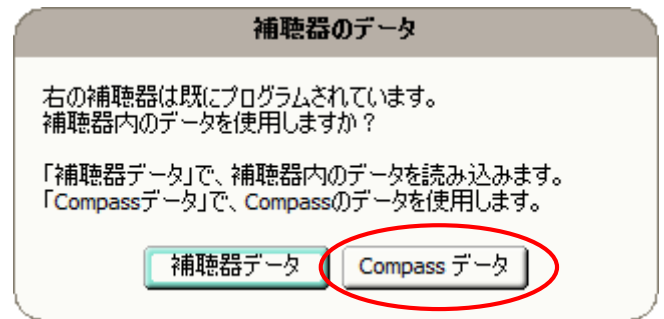
- ⑤ 接続された補聴器の情報と音響構成が表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。



- ⑥ 以下のメッセージが表示されますので、「OK」で続行してください。



- ⑦ 移行先の補聴器にフィッティングデータが入っている場合は、以下のメッセージが表示されますので、「Compass データ」をクリックしてください。



- ※ 納品されたばかりの補聴器の場合は、このメッセージが表示されず、自動的に「**フィッティング微調整**」の画面へ移り、データが移行されます。

- ⑧ 自動的に「**フィッティング微調整**」の画面に移ります。この時点でデータの移行は完了です。念のため、フィッティングデータが正しく移行されているか、ご確認ください。

